

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	老人クラブ運営費補助金	開始 年 度	昭和38年度
団 体 名	単位老人クラブ	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☒ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	老人福祉法第13条第2項, 函館市老人クラブ運営費補助金交付要綱, 函館市老人クラブ運営要領		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	豊富な知識、経験を生かし、地域のリーダーとして明るい長寿社会の担い手となるとともに、老後の生活を豊かなものとするため地域ごとに自主的に参加して構成される老人クラブに補助金を交付する。 また、国においても介護予防や相互の生活援助という観点から、老人クラブの活動・役割に今後も期待しているところであり、市の事業に対し、国費補助がある。
目 的	(目 的) 高齢者の知識経験を生かし、行きがいと健康づくり、またボランティアなど多様な社会活動を通じ明るい長寿社会づくりを目指し、概ね60歳以上の会員で構成される老人クラブの健全な運営を期することを目的としている。
・ 効 果	(効 果) 各種老人クラブ活動を通じ、会員相互の親睦を図るとともに、多様な社会活動参加による生きがいの高揚ならびに健康の増進に寄与した。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	その他	計
		市	その他					
収	R4 (決算)	6,450 [6,450]					16,915 14,744	23,365 [21,194]
	R5 (決算)	5,892 [5,892]					15,254 12,929	21,146 [18,821]
	R6 (決算)	5,669 [5,669]					15,489 13,377	21,158 [19,046]
	R7 (決算)	5,387 [5,387]					15,282 13,339	20,669 [18,726]
入	R8 (予算)	5,733 [5,733]					15,207 [13,239]	20,940 [18,972]
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R4 (決算)			23,365 [21,194]				23,365 [21,194]
	R5 (決算)			21,146 [18,821]				21,146 [18,821]
	R6 (決算)			21,158 [19,046]				21,158 [19,046]
出	R7 (決算)			20,669 [18,726]				20,669 [18,726]
	R8 (予算)			20,940 [18,972]				20,940 [18,972]

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	老人クラブ運営費補助金
----------------	-------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	老人クラブは、地域を基盤としており自主的に参加する高齢者によって組織されているものであり、その健全な運営を補助することは、高齢者の生きがいや健康づくりにつながる多様な社会活動への参加を増進し、老後の生活を豊かなものとするともに明るい長寿社会づくりに貢献している。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	会員数が減少に伴い会費収入が減少する中、地域における老人クラブの存在は介護予防や孤立防止といった点からも重要視されており、補助する必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	会費のほか事業ごとに参加費を設けるなど、運営努力はされている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	それぞれのクラブで活動は画一的ではないため、柔軟に対応し、自主性を養うためには有効である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている(最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	老人クラブ運営費補助金
----------------	-------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
※各老人クラブごと ・総会・役員会・定例会の実施 ・清掃活動等町内ボランティア活動の実施 ・レクリエーション事業の実施 ・パークゴルフ等健康作り事業の実施 ・函館市老人クラブ連合会主催事業への参加	
(達成状況)	
同上	



(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている ☒ 一定の効果をあげている ☐ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	それぞれ独自の事業を実施しており, 生きがいく りや介護予防にも貢献している。 近隣の高齢者に声を掛け合うことで, 引きこもり や孤立を防ぎ, 自立高齢者の見守りとなっている。 健康で明るい長寿社会づくりの担い手となってい る。

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) クラブ活動を通じ, 会員相互の親睦を図るとと もに, 多様な社会参加による生きがいの高揚なら びに健康の増進に寄与しているため。
☐ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	
(見直しの時期)	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 10 年度	☒ 終期到来時に再検討	令和 10 年度